

テーピング 実習で伝授

蒲郡高に日福大・山根教授



山根教授のテーピングの方法を学ぶ生徒たち＝蒲郡市の蒲郡高で

蒲郡市の蒲郡高校で9日、高大連携協定を結んでいる日本福祉大スポーツ学部
の山根真紀教授らによるテーピングの実習授業があった。

同高の健康スポーツ系列では運動部の生徒が多く選択しており、けが予防やパフォーマンス向上に役立つテーピング技術を学ぶことで、アスリートを支援

する人材を育てるのが狙い。

同系列の3年20人は、2人一組になって足首のテーピングの基本を学んだ。最初はテープがずれてうまくいかなかった生徒も、山根教授と助手役の同学部4年の学生2人から「テーピングを巻くときは常に足首を90度にして」などと教わりながらコツをつかみ、どんどん上達していった。

生徒の さんは「テーピングはすごく難しく大変だったが、けがや予防の対処法として重要なことなので教わることができて有意義だった」と話した。

(伊東誠)